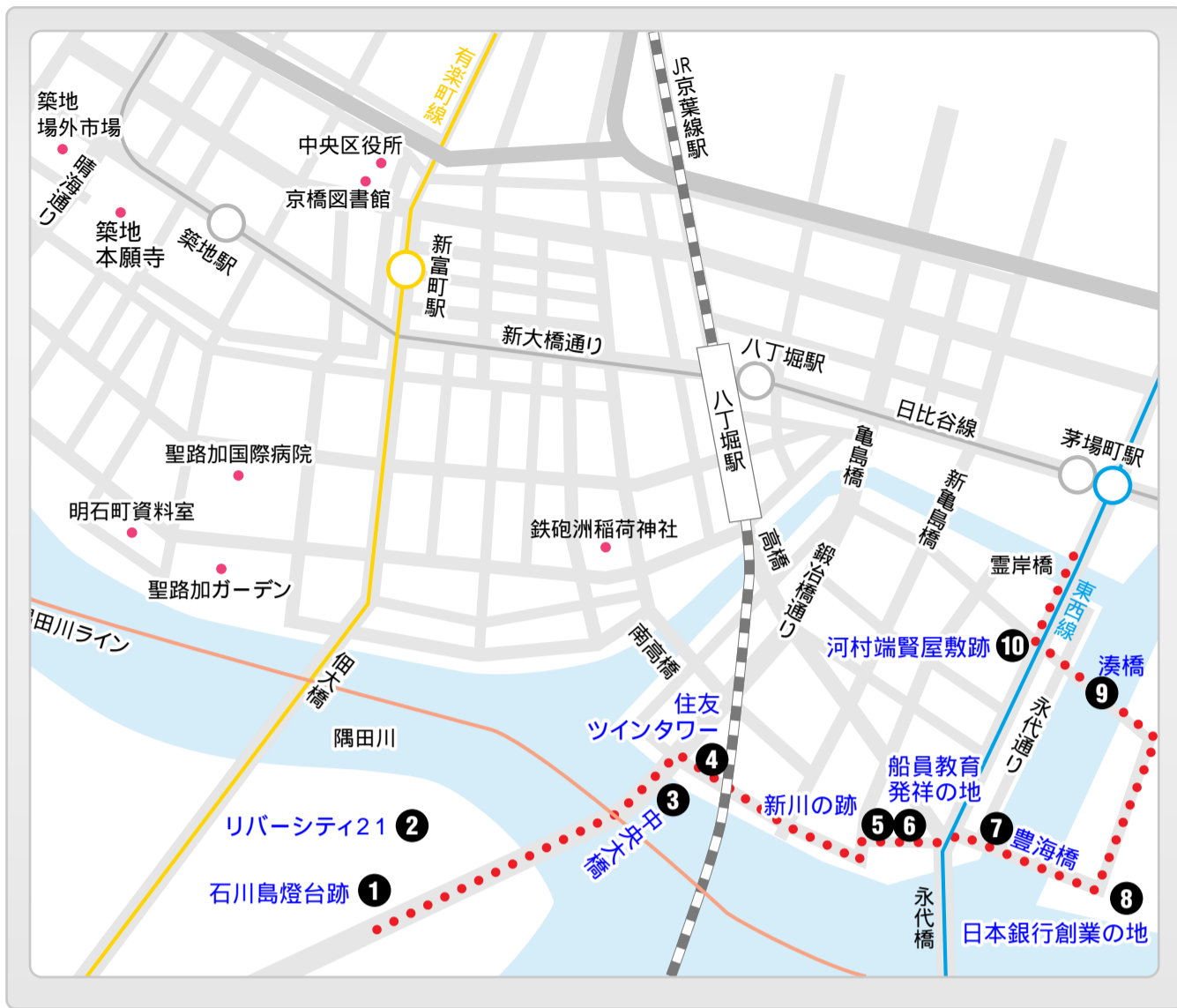


かわりゆくウォーターフロントを訪ねて…。



1 石川島燈台跡

慶応年(1886)石川島人足寄場奉行、清水純崎が隅田河口、品川沖航行の船舶のために、寄場の油しぼり益金を割いて築いたものです。燈台は住吉神社水門の反対河岸にありました。

佃2-3-14

2 リバーシティ21

地上40階建、120mの超高層住宅が建ち並ぶ東京の水辺を代表するまち「リバーシティ21」。隅田川に臨む親水公園を配し、水と緑と陽光に専まれた住宅空間を演出しています。

佃2-1

3 中央大橋

平成5年8月に開通した隅田川に架かる新しい橋。長さ250.7mの斜張橋で、橋中央の上流部にはパリ市から贈られた「メッセンジャー」と題されたブロンズ像がある。

佃1-1～新川2-23

4 住友ツインビル

新川2-27-2

5 新川の跡

新川は万治2年(1559)河村瑞賢の開さくと伝えられる運河である。船からの荷揚げのための一種の波止場で、周辺は材木や酒の間屋街として繁盛した。昭和23年に埋め立てられたが、酒問屋は今なお根をおろしている。

新川1-31-1 新川公園

6 船員教育発祥の地

明治8年(1875)岩崎弥太郎は、政府の命により船員育成のための学校「三菱商船学校」(のちの東京商船大学)を設置した。当初は隅田川に成妙丸を繋留して校舎とし、生徒全員を船内に起居させ、近代的船員教育を実施した。

新川1-30先

7 豊海橋

日本橋箱崎町19～新川1-19

8 日本銀行創業の地

日本銀行は、明治15年(1882)日本の中央銀行として、日本橋箱崎町において創業しました。建物は鹿鳴館の設計者として知られる英国人ジョサイア・コンドルが設計したベネチアン・ゴシック式の堅牢と美観を兼備した旧北海道開拓使東京出張所でした。

日本橋箱崎町19

9 湊橋

日本橋箱崎町1～新川1-1

10 河村瑞賢屋敷跡

河村瑞賢(1617～1699)は、明暦の江戸大火の時、木曾の材木を買占めて巨利を得たことで知られる。また、諸国からの江戸廻米の航路を開き、淀川等の改修を行うなど、海運や治水にも功績があった。

新川1-8